



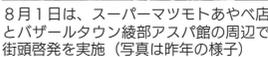
# 正しい知識を身に付けよう

## 一人一権一強一調一月一問

8月は人権強調月間です。人権とは、人が人として生きるため、生まれながらに持っている権利。1人ひとりが人権問題に取り組むことで、心豊かな社会の実現につながります。この機会に、改めて人権について考えてみましょう。

### 市内で人権啓発事業を実施

近年、日本ではインターネット上での人権侵害や差別的行為を促すヘイトスピーチ、子どもや女性、高齢者、障害のある人への虐待など、人権が侵される事件が多発しています。京都人権啓発推進会議（会長、西脇隆俊・京都府知事）は、8月を人権強調月間と定め、府内で啓発事業



8月1日は、スーパーマツモトあやべ本店とバザールタウン綾部アスパナ館の周辺で街頭啓発を実施（写真は昨年の様子）

を実施。本市でもさまざまな事業を展開します。

8月9日は、まちづくりセンターと上林いきいきセンター（八津合町）、物部会館物部町）で人権擁護委員会による人権相談を行います。10日にはI・Tビル（西町二丁目）で、あやべ人権フェスタ2019を開催。コンサートや映画「日は好日」を上映します。入場無料、申し込みは不要です。また、27日は中央公民館（里町）で、人権を考えるセミナーを開催。みえ人権教育・啓発研究会代表の松村智広さんが「へこたれへんく人はききとつながられる」と題し講演します。セミナーは、テーマを変えて8〜12月の毎月1回行います。

### 新たな人権課題にも注目

市は、本年度の「第3次人権教育・啓発推進計画」策定を前に、昨年、市民を対象に意識調査を実施。人権問題に対する意識動向などを把握するため、平成25年度に初めて行い、今回で2回目です。

今回の調査では、新たな人権課題として顕在化している性的少数者（LGBT等）やヘイトスピーチの認知度も調査。新たな課題について「知っている」と答えた人はLGBTで61・5割、ヘイトスピーチで49・0割の約半数でした。

### 人権への知識を大切に

調査によると、ヘイトスピーチを知ったきっかけの多

## 地域の宝と自然保護学が

## 水源の里自然大学

5回にわたる連続講座「水源の里自然大学」（京都府立大学、あやべ水源の里連絡協議会主催）が、6月7日の第1回を皮切りに水源の里の各集落で開講しました。本市で希少植物を調査した同大学の教授らを講師に、自然保護や地域の魅力を伝えていきます。

### 身近な自然を大切に

第1回のテーマは「自然に埋もれる地域の宝」。当日は

市内外から計67人が参加し、光野公民館（光野町）付近に咲く、絶滅危惧種のヒメザゼンソウを観察しました。同大学生命環境科学研究所の武田征士准教授が現地では花を前に解説。その後、奥上林公民館（故屋岡町）に移動し、花の構造や実態調査の結果等について講演を行いました。

講座には上林小学校4年生3人も参加。地域の隠れた魅力や環境保全を学びました。

### 始まりはヒメザゼンソウ

この講座は、水源の里・光野で平成27年に偶然発見されたヒメザゼンソウが始まりです。謎に包まれていた生態を解明するため、翌年から同大学の共同研究を開始。水源の里で発見したことから地域の人がたたくと共有するため、講座を開講しました。

講座はテーマを変えて7、9、10、11月にも開催（詳しくは左上を参照）。参加費は無料です。申し込みなどは、あやべ水源の里連絡協議会事務局（上林いきいきセンター）にご連絡ください。ぜひ参加して、地域の魅力に触れてみませんか。



児童は講座で学んだ地域の魅力を、11月の上林フェスティバルで発表します

## 各種人権相談

市は、差別やいじめ、虐待などさまざまな相談窓口を開設しています。不安なことや心配ごとなど、1人で悩まずに気軽にご相談ください。

人権相談 …………… 人権推進課 ☎(42) 4249

女性相談 …………… あいセンター ☎(42) 1801

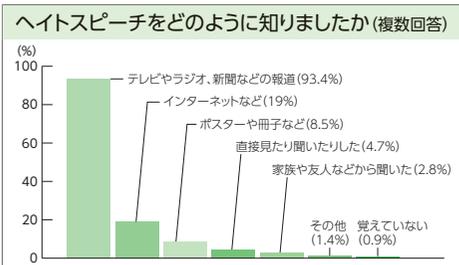
家庭児童相談 …… 家庭児童相談室(子ども支援課) ☎(40) 1088

教育児童相談 …… 教育相談センター(学校教育課) ☎(42) 1214

障害者相談・こころの健康に関する相談 障害者支援課 ☎(42) 4318

消費生活相談 …… 消費生活センター(商工労政課) ☎(42) 4263

健康相談 …………… 保健福祉センター(保健推進課) ☎(42) 0111



## 善聞 語録

### あれから一年

いれば…その夜だけでも2階に垂直避難していれば…後悔先に立たずとは承知しながらも悔やまれてならない。この犠牲と教訓を今後の防災にいかにか生かすか…課題は多いが逃げるわけにはいかない。

悪夢のような西日本7月豪雨災害から1年が経つ。台風や地震も度重なり全国的に災害対応に明け暮れた。本市でも数多くの家屋や事業所が浸水、河川は氾濫し道路は崩落、農地や林地等も甚大な被害に見舞われた。そして何とんでも3名の尊い命を失った。当時を思い出すと今も胸を掻きむしられる。亡くなられた老夫婦は正に避難をしようとかけていた電話中に音信不通となった。もう1人の若者は離れの1階で就寝中に土砂が襲った。もうほんの少し早く避難して

発生直後の応急復旧、そして災害対応を最優先するため事業全般の見直しと予算の組替え、さらには本格復旧に向けた矢継ぎ早の関係省庁との交渉等に奔走した1年でもあった。市民生活に影響を及ぼす予算の見直しや、負担増を伴う行財政健全化は断腸の思いであったが、議会や多くの市民の理解を得て当面の窮状を脱することはできた。改めて故郷を想うオール綾部の精神に頭を垂れて涙した。今年も出水期となった。安寧を祈りつつも相手は自然。「来るものは拒めない」との覚悟で緊張の糸をピンと張り詰めて臨みたい。

山崎善也(綾部市長)

第3回  
日時 9月18日(水)午後1時～4時  
場所 水源の里・老雷(老雷町)  
テーマ 人と自然の係わり合いの場としての里山  
定員 30人

第4回  
日時 10月1日(火)午後1時～4時  
場所 水源の里・古屋(睦寄町)  
テーマ 里山にある様々な広葉樹を人間はどのように利用してきたか  
定員 30人

第5回  
日時 11月19日(火)午後1時～4時  
場所 上林小・中一貫校(八津合町)  
テーマ 森のもつ多面的価値一森を守ることの大切さを考える  
定員 70人

申し込み・問い合わせ  
あやべ水源の里連絡協議会事務局(上林いきいきセンター内)  
電話(54)0095  
ファクス(54)0096  
メール teiyutiiki@city.ayabe.lg.jp  
※第2回は7月12日に終了しました

## マルベリージャム作ったよ

吉美こども園の5歳児19人が6月11日、あやべマルベリーファーム（位田町）で桑の実摘みを行いました。園児は、木によじ登ったり踏み台に乗ったりして夢中で収穫。首に掛けた牛乳パックいっぱいの桑の実を友達と見せ合いました。

園児は、持ち帰った桑の実でジャムづくりを体験。保育室に甘い香りが広がると、みんな嬉しそうに目を輝かせていました。



## 活動をドローンで空撮

放課後子ども教室「物小チャレンジクラブ」の児童35人が6月12日、物部小学校（物部町）の校庭で、レジ袋を使用した地上文字づくりに挑戦。エフエムあやべに依頼し、チャレンジの様子をドローンで空撮しました。児童たちは、時折吹く強い風に苦戦しながらも力を合わせて完成。空高く舞い上がるドローンに手を振りながら歓声を上げました。



## 市立病院に新任医師

青野町の市立病院（高升正彦院長）に7月1日、医師が新たに赴任しました。「専門は泌尿器がんで、疫学や診断、手術、がん緩和ケアなど広く興味を持って診療しています。がんの分野では新しい治療法や治療薬が目白押しですが、当院でも常に最新の治療法を提供できるよう努めます」と話す、泌尿器科部長の中西弘之医師。毎週火～金曜日の診察を担当します。



## ママの視点で防災学習

綾部青年会議所（小寺建樹理事長）は6月30日、あやべグンゼスクエア（青野町）で子どもの命を守るママになってもらうことを目的に、防災学習を行いました。「防災ママかきつばた」代表の高木一恵さんが、ハザードマップの確認やおむつやミルクなどの備蓄の大切さについて講演。仮設トイレの使用方法などを実演し、避難所での生活の様子を説明しました。参加者は「食料などの備蓄を考えたい」と防災意識を高めました。



グラフ：あやバス年間乗車人数



モニターは高校生以上で、9月10日(火)～10月10日(木)に概ね5回乗車できる人が対象。バスに乗って気付いたことや提案などを、シートに記入して提出してください。意見は、運転や接客などの業務改善、サービス向上につなげます。また、今後のダイヤ改正等の参考にし、利用者の目線をより利用しやすいバスの運営を目指します。

**お得なキャンペーンも展開**  
市は敬老の日に合わせて、9月1～30日に「健康長寿定期65」のキャンペーンを実施。65歳以上の人はあやバスが全線乗り放題の同定期券を、通常価格の半額の1500円で販売します。定期券は市民協働課とあやべ観光案内所（駅前通り）、大町バスターミナ

### 求む!あやバスモニター

**対象**  
高校生以上で、期間内にあやバスに概ね5回乗車できる人

**モニター内容**  
9月10日(火)～10月10日(木)にあやバスに乗りし「あやバス気づきシート」を提出。  
例：運転手や車両、バス停の様子  
あやバスの上手な利用方法の提案—など

**募集期間**  
**7月22日(月)～8月20日(火)**

**募集人数**  
約10人・団体(最大5人までの団体での応募も可能)

**選定方法**  
幅広い地域・年代のモニターから意見を聞くため、お住まいの地域や年齢を一定考慮して抽選します。

**その他**  
※モニター決定者には、9月に説明会を開催します。  
※モニターリングのための1日乗車券をお渡しします。

**イベント企画し利用促進**  
あやバスの乗車人数は、運行開始以降、年間20万人超で推移。昨年には、

モニターは高校生以上で、9月10日(火)～10月10日(木)に概ね5回乗車できる人が対象。バスに乗って気付いたことや提案などを、シートに記入して提出してください。意見は、運転や接客などの業務改善、サービス向上につなげます。また、今後のダイヤ改正等の参考にし、利用者の目線をより利用しやすいバスの運営を目指します。



定期券を見せるだけで降りて車内での支払いの手間がなく便利です

延べ300万人を突破しました。しかし昨年度は、初めての19万人台に。7月豪雨や台風による運行休止の影響もありましたが、利用者が減少しているのが現状です。

市は、あやバス絵画展やクリスマスバスの運行など、イベントやキャンペーンを企画。また、大人1人につき未就学児3人まで運賃を無料にするなど、親しみやすく利用しやすいバス運営に取り組んでいます。あやバスは、皆さんの利用で成り立っています。市内のお出掛けに、ぜひご利用ください。

# 乗って応援! あやバスモニターを募集

市内の公共交通機関として「あやバス」の愛称で親しまれているあやべ市民バス。市は、あやバスのさらなる利便性向上のため「あやバスモニター」を募集します。

利用者目線でサービス向上